



三本桜

第25号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
12月の目標：交通ルールを守って生活しよう

人権週間

12月4日（水）から10日（火）は「人権週間」であり、最終日の10日は「人権デー」です。これは、法務省が定めているもので、この期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚が呼びかけられることになっています。

「人権」とは何か、法務省では「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるものと言っています。「人権」は全ての人々の権利であり必ず守らなければならないものです。

しかし、現実にはさまざまな差別や偏見、誹謗中傷、いじめ等々「人権」を脅かしている行為は世界中で見られます。学校では、日頃より子どもたちに対して、「命を大切にすること（自分も友達も傷つけてはいけない）」、「みんなと仲よくすること（いじめは絶対にだめ）」と話し続けていますが、「人権週間」を機に「人権」について改めて話していこうと思います。ご家庭でも「自分の人権」「他人の人権」について話し合ってみてください。よろしくお願いします。



授業が変われば学びが変わる

学校教育の中核は授業です。授業の質の向上が、子どもたちの学びの質の向上、つまり学びの改革につながります。そこで、私たち教員は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から、授業の質を高めるポイントやアイデアを考えています。

「個別最適な学び」では、子どもに委ねることが重要です。手始めに、学び方を選択する場や学びのプロセスを決める場を設定し、子どもたちに学習を任せてみます。そして、学びを振り返る場を設け、成果と課題を明らかにさせ、軌道修正したり、次の段階に生かしたりするなど、子どもたちが自己調整しながら学習を進めていくことを目指しています。

「協働的な学び」では、子どもたちにその楽しさやよさを実感させることが重要です。具体的には、対話や他者と課題解決に取り組むことなどを通して、自他の考えを深化・拡充したり、納得解や最適解をえたりできるようにファシリテートしていきます。

そして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実するには、単元構想が鍵となってきます。各々の学びを何時間、どこに位置づけるのか、または、どちらの学びに重点を置き単元をつくるのか、特に授業研究の際にはウェイトをかけて考えています。更に年間のどこに位置づけるのかなど、カリキュラムマネジメントも重要になってきます。教務主任、研究主任が核となって、全校体制で授業改善に力を入れています。

こうした営みの積み重ねが授業を変え、子どもたちの学びを変えていくと信じています。

地域の方に支えられて

11月26日は5年生の総合的な学習の時間で、翌27日には3年生の総合的な学習の時間で、いずれも地域にお住まいの方をゲストティーチャーとして迎え、ご講話をいただきました。

高取小学校では、住みよいまちづくりに関すること（環境、防犯、防災、）、年間を通して行う米作り、福祉実践教室（幸せな社会、認知症講座）、読み聞かせなど、地域の「ひと・もの・こと」を生かした特色ある教育活動に取り組んでいます。各活動では、地域の方を講師にお招きしたり、地域の方をご招待して一緒に活動したり、保護者ボランティアの方にご協力いただいたりと、地域の方々との協働による教育活動を推進しています。

今後も、地域一丸となって子どもたちを育成しようという雰囲気にあふれた地域の教育力を大切にしながら、より一層連携を深めていきたいと思えます。



【5年生 総合的な学習の時間①】



【5年生 総合的な学習の時間②】



【3年生 総合的な学習の時間①】



【3年生 総合的な学習の時間②】

大変な時期

今を生きる全ての子どもたちが、転機、「変わる時期」のまっただ中にいます。「大変」な時期と言ってもよいでしょう。

ここで、「大変」という言葉について考えてみます。大変とは、「大きく変わる」と書きます。つまり、大変だと感じるときは、考えようによっては「大きく変わるチャンス」でもあるのです。「転機」とは、子どもたちにとって「大変な時期」かもしれませんが、今までの自分と違う「大きく変わった」自分に出会える「チャンス」になるかもしれません。

そんな子どもたちに、ときには手を差し伸べたり、ときには背中を押してやったり、ただ温かく見守ってやったり…。これからも学校、家庭、地域が連携しながら高取っ子を支えていきたいと願っています。